

本号の主要記事

○第2回全国理事会

○兵庫大会決算書

○事務職員研修会

○教職員中央研修

2020

# 協会ニュース 204号



令和2年1月1日発行

全国公立高等学校事務職員協会

<https://zenjikyo.jimdo.com/>

事務局：群馬県立太田フレックス高等学校

電話：0276-31-8047

住所：群馬県太田市下田島町 1243-1



## 新年のごあいさつ

全国公立高等学校事務職員協会 会長 菊地 隆

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も本会活動に御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。2020年は庚子（かのえ・ね）です。十干十二支を植物で見た時、庚子は変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態なので、全く新しいことに

チャレンジするのに適した年とも言えるそうです。

さて、人が進化する過程で、遺伝情報は遺伝子により親から子へ一方的に伝えられますが、習慣や技能、物語といった文化情報は模倣して人から人へ相互に伝えられるとされています。この文化の遺伝子を、英国の生物学者R＝ドーキンスが著書「利己的な遺伝子」でミームと名付けています。

私たち学校事務職員も、いままでの先輩たちが築いてきたものをミームという形で引き継いでいます。しかし、急速に進む社会変化や予測の難しい未来をむかえるにあたり、遺伝情報ばかりを頼っているわけにはいかなくなりそうです。

大人になると、様々な知識や経験から結果がある程度想像できてしまい、シミュレーションだけで終わらせる場合があります。これはAIが得意とする分野ですが、これでは今までの常識の範囲以外のことは起こせません。しかし子どもはどうでしょう。例えば高く積み上げた積み木を躊躇なく崩すこととか、大きく膨らんだ風船を遠慮なく割ることができます。これは、あるアーティストが今までの自分スタイルから脱却するために意識したことだそうです。

また、ある自動車メーカーの社長は「私は年寄りだから新しい開発からはもう手を引いているが、一応今の若い連中が何をやっているか見せて貰っている。でもわからないんだな。だからこそ嬉しいんだ。この年寄りに分るような事をやっているのならうちの若い連中はボンクラですよ」と話しています。

働き方改革を進めるうえでも、こういった感覚が必要ではないでしょうか。増築や改築ではなく、真新にして一から組み上げることや、今までにはない手法で組み上げることが大事だと思います。

令和という新しい時代は、私たち経験豊富な事務職員が創るのではなく、これからの若い事務職員が創っていくものです。その若い事務職員の発想を私たちの感覚で抑えるのではなく、見守ることのできる団体であること。そして、もしも間違ってしまったときにはバックアップのできる団体でありたいと考えます。

（写真：上州武尊山の一峰、剣ヶ峰山 標高 2020m）

2019年度

## 第2回全国理事会報告

期日：令和元年11月22日(金)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

11月22日(金)国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において今年度の第2回全国理事会が行われ、全国から都道府県市協会長が参集した。

理事会出席者は、協会役員を含め総勢62名。以下のとおり全国理事会の概要を報告する。



### <報告事項>

#### ○協会の活動状況及び情勢について

理事会資料の「全国理事会議案書」に基づき平成30～令和元年の主な活動内容の報告と今後の活動予定についての説明を行った。

#### ○第1回全国理事会及び第72回全国研究大会並びに総会について

令和元年7月24日～26日の三日間に渡る兵庫大会の報告を行った。また、特別分科会への協力に対するお礼と成功について報告を行った。

#### ○第72回全国研究大会の決算報告等について

川上実行委員長より、全国研究大会(兵庫大会)の決算報告と参加者の集計結果について説明を行った。また、大会に多くの方々(917名)が参加されたことに対して感謝の意が述べられた。(収支決算報告は3ページに掲載)

#### ○全国調査について

「2019年度全国協会要覧」に掲載の全国調査集計結果についての説明を行った。

#### ○支部助成金について

休会協会等による学校数の減少や弘済会からの助成

金の削減等により、収入が減少するため、令和3年度より支部助成金を減額したい旨の提案を行った。

### <審議事項>

#### ○第72回全国研究大会優秀研究発表者の表彰について

審査の経過が報告され、最優秀は該当なし、最優秀に準ずる研究発表として福岡県、茨城県の研究発表2本を推挙し表彰する旨の提案を行い、承認された。

#### ○第1回全国理事会等の日程について

令和2年7月29日(水)愛知県名古屋市「名鉄ニューグランドホテル」での開催を提案し、承認された。

#### ○第73回愛知大会並びに総会の日程について

日比野副会長(愛知県実行委員長)より、以下のとおり提案があり、承認された。

・期日：令和2年7月30日(木)～31日(金)

・日程：30日 12:30～16:10(総会終了 17:30)

31日 9:20～16:20

・会場：名古屋国際会議場(名古屋市)

・全体会：記念講演

演題「未定」

講師 カレーハウス CoCo 荻番屋創業者・NPO 法人  
イエロー・エンジェル理事長 宗次 徳二氏

### <連絡事項>

#### ○北海道支部大会について

次回の北海道支部大会より、道外の方の参加を広くアナウンスしていただきたい旨の連絡が田島北海道協会長からあった。詳細は北海道協会のホームページで確認していただきたい。

#### ○協会要覧の配付について

全国理事会会場にて各協会分5冊を各協会長に配付し、会員閲覧用として全国協会ホームページにも掲載した。

#### ○「学校事務」誌の原稿執筆について

学事出版(株)出版の「学校事務」誌の特集、連載等の執筆者を募っている。研究部から、あるいは各協会長を通じて依頼があった場合は、是非引き受けていただきたい。

第72回全国公立高等学校事務職員研究大会収支決算書

収入決算額 9,360,033 円  
 支出決算額 9,360,033 円  
 差引残高 0 円

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
大会参加費	3,400,000	3,668,000	268,000	参加費 4,000円×917名
負担金	4,500,000	4,500,000	0	全国協会本部 4,000,000円 近畿支部 500,000円
補助金	600,000	1,192,000	592,000	県事務長会 100,000円 姫路観光コンベンションビューロ 1,092,000円
雑収入	0	33	33	預金利息
合 計	8,500,000	9,360,033	860,033	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
大会準備費	1,700,000	2,108,886	-408,886	
旅 費	1,400,000	1,844,464	-444,464	先催県視察、合同打合せ等
会 議 費	120,000	100,343	19,657	会場使用料等
消耗品費	150,000	135,390	14,610	大会準備消耗品
通信運搬費	30,000	28,689	1,311	各種資料等郵送料、振込手数料
大会運営費	6,800,000	7,251,147	-451,147	
報 償 費	30,000	20,000	10,000	講師謝金
旅 費	170,000	166,229	3,771	文科省、記念講演、基調講演講師等
会 議 費	860,000	851,218	8,782	全国理事会等会場使用料
消耗品費	250,000	244,849	5,151	大会運営消耗品
印刷製本費	530,000	528,406	1,594	大会要項・資料等印刷
食 料 費	110,000	102,994	7,006	講師等昼食、お茶代
通信運搬費	10,000	4,564	5,436	各種資料等郵送料、振込手数料
委 託 料	90,000	87,630	2,370	旅行取扱業務委託料
使用料及び賃借料	4,750,000	5,245,257	-495,257	大会会場使用料、機器レンタル料等
予 備 費	0	0	0	
合 計	8,500,000	9,360,033	-860,033	



2019年度 事務職員研修会

- ・講演「イマドキ世代の後輩育成」  
～働きやすい事務室の構築～

- ・グループワーク

講師 アムニカ人財研究所

代表 柿沼良太 氏

令和元年11月22日(金)に「イマドキ世代の後輩育成」～働きやすい事務室の構築～と題して、事務職員研修会が国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において行われた。

午前には講演、午後は各協会から推薦された研修生70名が12班に分かれて、グループワーク形式で研修を行った。



柿沼氏は、「コーピング」「プレゼンテーション」「ネゴシエーション」などについて、各省庁・自治体・民間企業、学校関係で研修業務を実施し活躍している。また、「メンタル心理カウンセラー」の資格を取得し、要望に応じたカウンセラーの業務も行っている。今回は、柿沼氏に後輩事務職員との接し方や指導方法について学び、それに伴うコミュニケーション能力の習得についてご講義いただいた。

【目的・趣旨】

世代間ギャップを大きく感じる後輩事務職員との接し方や指導方法の改善を図ると共に、学校事務職員に求められている学校全体を見渡せる視野の拡大やコミュニケーション能力の向上を目的とした研修により、自分の伝えたいことを適切に相手に伝えることができ、良好な対人関係を構築できる次世代リーダーの育成を図る。

【テーマの背景】

経験の浅い事務職員とどのように接しどのように指導すればよいか、年令が離れた後輩事務職員とはどのよう

なコミュニケーションが望ましいのかについて習得する。また、ミドルリーダーとしての役割や心構えを明確にするとともに、コミュニケーションを通してどうすれば期待される効果が得られるのかなど、「イマドキ世代」の後輩事務職員への関わり方を習得する。さらには、相手や周囲に嫌がられることを恐れ本音と言えない、自分の意見を素直に言えない、さらにはその対人関係がストレスの原因となっている事務職員も多いように思われる。ストレスゼロを実現するためにも、他者尊重をした上で、自分の伝えたいことを適切に相手に伝えることができ、良好な対人関係を構築できるようにとテーマを設定した。

【対話式講演】

＜コミュニケーション上手になるために＞

・コミュニケーションとは

・アサーションとは

＜なぜアサーティブになれないのか＞

・バーバル(言語)コミュニケーションとは

・ノンバーバル(非言語)コミュニケーションとは

・自己受容と他者受容とは

【グループワーク】

＜自分の「自己表現タイプ」を知る＞

・3つのタイプの特徴(ノンアサーティブ(非主張的)、アグレッシブ(攻撃的)、アサーティブについて)

・ノンアサーティブとアグレッシブ(状況と相手によって変わる感情を感じるについて)

＜アサーティブな考え方を身につける＞

・ABCD理論(出来事、思考、感情と論理的否定について)

・ポイント(感情をプラスへと変えるコントロールについて)

＜職場の問題について＞

・課題と活用方法(まとめとして課題の洗出しと解決策について)



2019 年度事務職員研修会参加者アンケート結果

「イマドキ世代の後輩育成」

～働きやすい事務室の構築～

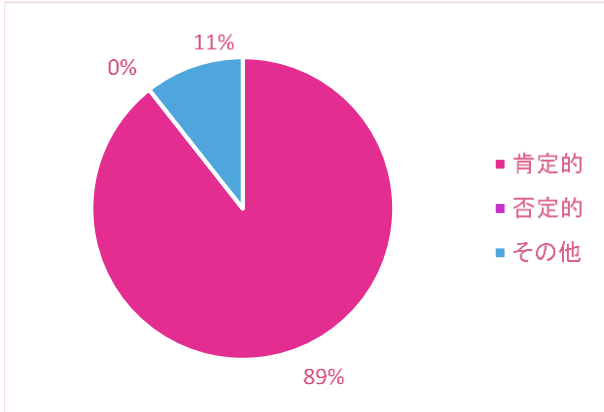
講師：アムニカ人財研究所 代表 柿沼良太 氏

1. 回答率

94.3% (回答者66名/参加者70名)

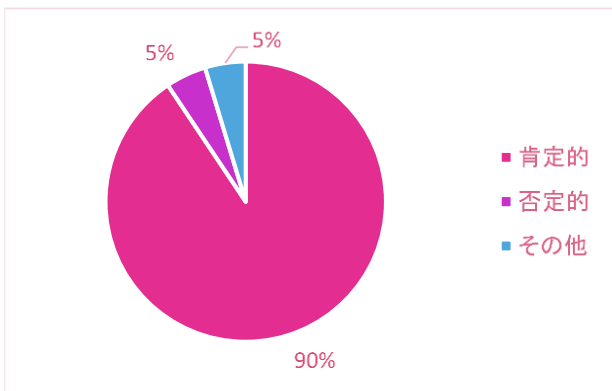
2. 回答内容

<問1> 今回の研修の題材・内容についての感想



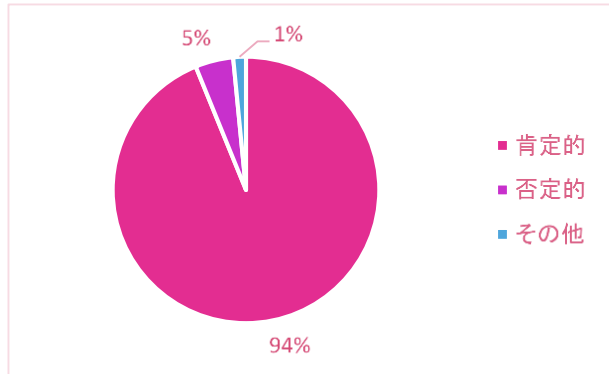
	件数	内容
肯定的	59	良い題材・内容である等
否定的	0	
その他	7	コミュニケーションに近い内容等 未回答5

<問2> 講演「イマドキ世代の後輩育成」についての感想



	件数	内容
肯定的	58	わかりやすく楽しい講義でした等
否定的	3	もっと具体的に講演して欲しかった等
その他	3	時間が短かった等 未回答2

<問3> グループワークの感想



	件数	内容
肯定的	61	他県の方と意見交換が出来て有意義でした等
否定的	3	盛り上がらなかった等
その他	1	未回答1

<問4> 次回以降研修会で取り上げて欲しいテーマ

- ・人財（後輩）育成、指導 7件
- ・コミュニケーション 6件
- ・やる気（モチベーション） 2件
- ・苦情（クレーム）対応 2件
- ・防災対策、避難所対応 2件
- ・教員との関わり方 ・教員の多忙解消
- ・精神疾患や障害 ・パソコン事務の現状
- ・学校業務の現状と問題 ・学校事務制度
- ・アンガーマネジメント ・コミュニティスクール
- ・コーチング ・メンタルヘルス ・働き方改革
- ・若手職員研修

<問5> その他全国協会への要望等

- ・今後もこのような研修の場を設けていただきたい 5件
- ・東京以外でも開催してほしい 2件
- ・他県の情報（飾りのない言葉）が欲しい
- ・休会しないよう働きかけをお願いしたい

令和元年度 教職員等中央研修 (第3回 事務職員研修)

茨城県つくば市にある「独立行政法人教職員支援機構つくば本部」において、113名が参加して令和元年度教職員等中央研修(第3回事務職員研修)が令和元年10月7日(月)～10月11日(金)の日程で開催された。

この研修は、高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の事務長またはそれに準ずる者であって、今後、学校経営、教育実践において各地域の中核として活躍が期待される者を対象として開催されている。

◇目的

学校経営力向上のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核となる校長、副校長、教頭、中堅教員及び事務職員等を育成すること。

◇主催

独立行政法人 教職員支援機構

◇共催

文部科学省

◇受講者

(1) 受講資格

高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の事務長、学校事務の共同実施におけるリーダー的な役割を担う担当者またはそれに準ずる者であって、今後、学校経営、教育実践において各地域の中核として活躍が期待される者

(2) 標準定員

5ユニット(100人)

◇全国協会の協力

協会からは、10月9日(水)の午後から10日(木)の午前まで「学校マネジメントプランの設計」の演習において、4名の理事が司会進行、指導助言

者として研修に協力した。

なお、研修全般について、研修参加者による誌上報告が「学校事務 令和2年3月号」に掲載される予定なので、是非そちらをご覧ください。

<演習>

「学校マネジメントプランの設計」

指導 国立教育政策研究所初等中等教育研究部  
副部長・総括研究官 藤原 文雄 氏  
司会進行・助言 全国協会理事

10年後の学校のあるべき姿について想定し、その実現に必要なことについて演習をもとに考え、更に、人材育成の視点から自校の育成計画を立てることを目標に取り組んだ。

<演習内容>

1日目

10年後の学校を想定し、学校改善の在り方を探る。

<つかむ> 学校改善について10年後の社会の姿をグラフに基づき予想し、共有する。

<考える> 10年後のあるべき姿(学校像)を考え、実現するための方策を探る。

<深める> ワールド・カフェ方式で共有する。

◇ワールド・カフェ方式◇

移動が自由でオープンな討議方式。

リラックスした雰囲気の中で対話を楽しむ。

<広める> 振り返り、グループ内で共有する。

2日目

10年後の事務職員が身に付けておくべき資質・能力を階層別に整理し、自校の人材育成計画を立てる。

〈つかむ〉10年後の事務職員が身に付けておくべき資質・能力をカテゴリーに分類する。

〈考える〉身に付けるべき資質・能力を階層別に考える。

〈深める〉他のグループの成果物を参観して自校の事務室を想定し人材育成計画を策定する。

〈広める〉グループ内で共有 → 全体発表

未来を起点に現在を見るバックカスティング思考やワールド・カフェ方式の討議等により、ウェルビーイングの実現に向けた学校づくりへの議論が展開された。今回の研修は、主体的、対話的であることに加えて深い学びにより事務長らしいものの見方、考え方を身に付け、実践力を高める内容であった。

☆☆☆☆☆☆☆☆

宿泊を伴う長期間にわたる研修は最近少なくなりましたが、連日、充実した研修日程を全国の同志とともに体験したことは、貴重で有意義な機会であったと思います。このような研修は、受講内容を整理し、学校現場で活かしていくことが重要であると思われます。研修を受講した皆さまにおかれましては、この研修の成果を各地域で新しい学校づくりの中心的指導者となって還元され、一層の活躍されることを祈念しています。

#### 本部活動報告

○常任理事会（定例会）（東京・小山台会館）  
11/8 全国理事会及び愛知大会分科会運営ほか  
12/13 全国理事会運営・事務職員研修ほか  
○常任理事会（全体会）（東京・国立オリンピック記念青少年総合センター）  
11/22 第2回全国理事会の運営について  
○第2回全国理事会（東京・国立オリンピック記

念青少年総合センター）

11/22 全国理事会（報告及び議事）

○事務職員研修会（東京・国立オリンピック記念青少年総合センター）

11/22 「イマドキ世代の後輩育成」

～働きやすい事務室の構築～

#### 編集後記

会員の皆様のおかげで協会ニュースは、無事に204号を迎えることができました。ありがとうございます。今年度は、「平成最後の・・・」「令和最初の・・・」があらゆる行事の度にささやかれました。平成の始まりから終わりまで、平和に過ごすことができたことに喜びを感じつつ、令和の時代も穏やかに過ごしたいものです。

この夏の全国大会は、愛知県です。表紙の写真は「都市景観-オアシス212」（愛知県提供）。日本中がオリンピックにわく中、名古屋で盛り上がりましょう。

次号の「協会ニュース」は愛知大会について、特集します。

○全国協会 HP アドレス

検索名は、「全国公立」または、「全国公立高等学校事務職員協会」で可能です。

○「協会ニュース」についてのお問い合わせ

ご連絡は次の広報部編集担当まで

・茨城県立竜ヶ崎第一高等学校／宇佐美

電話 0297-62-2146

FAX 0297-62-9830

Mail [usami.fukumi@post.ibk.ed.jp](mailto:usami.fukumi@post.ibk.ed.jp)

・茨城県立水海道第二高等学校／柴崎

電話 0297-22-1330

FAX 0297-22-5489

Mail [sibasaki.seiji@post.ibk.ed.jp](mailto:sibasaki.seiji@post.ibk.ed.jp)